



2026年4月15日

各位

会社名 株式会社地域新聞社
代表者名 代表取締役社長 細谷 佳津年
(東証スタンダード・福証本則 証券コード：2164)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
執行役員 五十嵐 正吾
(TEL.047-485-1107)

福岡証券取引所本則市場への上場に関するお知らせ

株式会社地域新聞社（本社：千葉県八千代市、代表取締役社長：細谷 佳津年、以下「当社」といいます）は、本日2026年4月15日付で、福岡証券取引所本則市場へ上場いたしましたので、お知らせいたします。

これもひとえに、株主の皆様をはじめ、多くの関係者の皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。なお、当社株式は現在上場している東京証券取引所スタンダード市場との重複上場となります。

当社は、「地域共創プラットフォーム（地域企業の事業承継やスタートアップの資金調達といった課題を、株式交換等を活用して解決し、企業の成長と地域内での資本循環を実現するM&A戦略）」（別紙参照）の構築を推進しております。福岡市はスタートアップ支援や新産業創出において先進的な取り組みが進む地域であり、当社の構想との親和性が高いことから、本上場を通じて同構想の実践的な展開を一層加速してまいります。

今後も中長期的な企業価値の向上および株主価値の最大化に努めるとともに、地域社会への貢献を通じた持続的成長を目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

以上

「EXIT」ではなく「NEXT」の新しい選択肢!

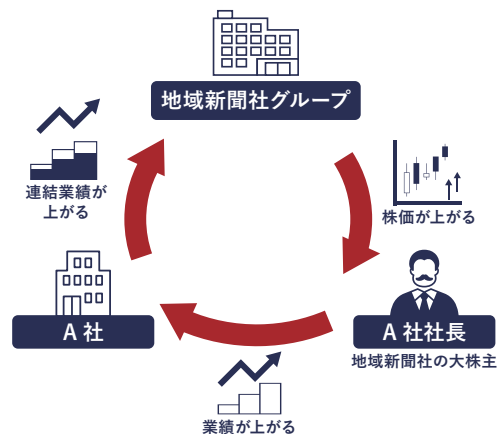
上場企業グループとして
成長を加速させる

売らない M&A

地域共創プラットフォームは、株式交換によって上場会社グループに参画しながら、経営権・事業ブランド・挑戦の自由を維持できる新しい M&A スキームです。地域新聞社は、このスキームを通して地域発スタートアップを応援します。

- 現金売却ではなく、株式交換
- 創業者は社長のまま
- 上場企業グループの信用力・資本力・ネットワークを活用

単独成長の限界を、
グループ成長で超えていきましょう!



事業を続けることが、資産を育てる力になる。

地域新聞社の株を持ち、グループに加わったあとも、これまで通り事業を続けていただけます。元気に継続することで、その成果が地域新聞社グループの企業価値を高め、株式の価値として、元オーナーさまの資産にも還元される仕組みです。

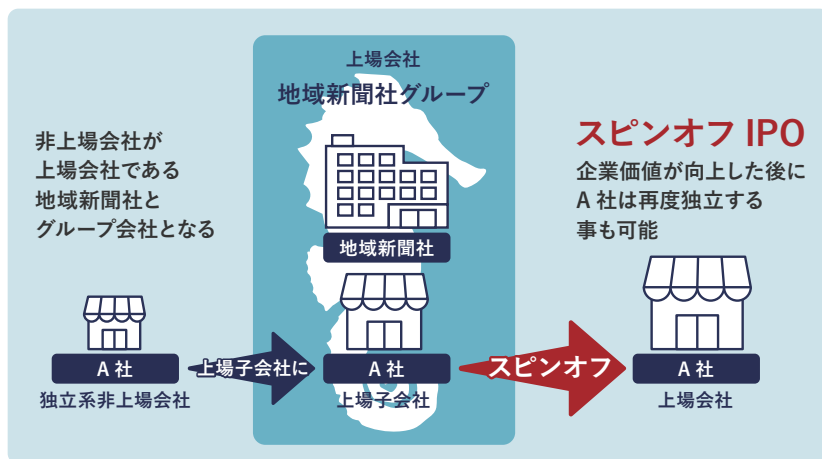
会社を大きくしたい!もっと地元を盛り上げたい!という方へ。

これから事業を伸ばしたい企業にも、
“地域共創プラットフォーム”は新しい選択肢になり得ます。

“地域共創プラットフォーム”は、承継だけでなく、
「これから地域で挑戦したい」
「より大きな企業を目指したい」
という成長志向の企業にもご活用いただけます。

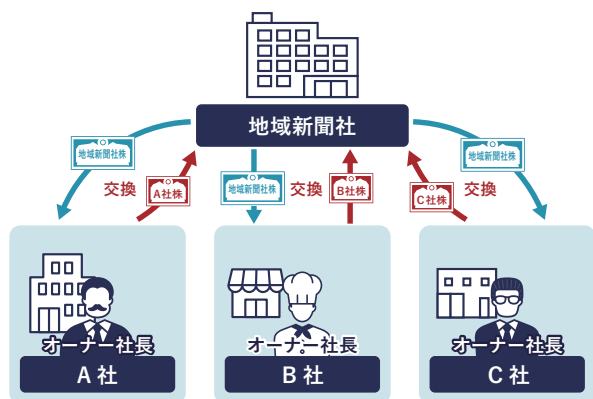
例えば、一度グループに加わり、
スピンオフ IPO を目指すことも可能です。

上場支援・ガバナンス・資金調達など、
地域新聞社グループのリソースを共有しながら、
企業価値を向上することができます。

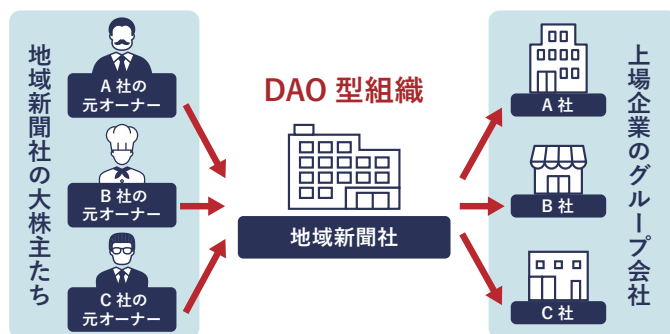


「地域の企業と、共に未来を育てる“株式交換”の仕組み」

地域新聞社の「上場株式」を活用し、地域の優良企業やお店と共に成長していく仕組みが“地域共創プラットフォーム”。



オーナー社長が保有している自社株を地域新聞社に譲る
オーナー社長には対価としてお金ではなく地域新聞社の株を交付する



法的には子会社であるが上下関係のない DAO 型組織

よくいただくご質問



経営の自由はなくなりますか？

“DAO 型”の考え方に基づき、経営判断は各社が自律的に行います。地域新聞社のリソースも活用可能。



会社を“売る”ことになりますか？

いいえ。地域新聞社と株を交換し、子会社となった後も経営を続けていただけます。同時に上場企業の大株主になります。



まず何をすればいいですか？

概要を聞くだけでも OK です。秘密厳守でご相談を承ります。以下の問合せ先へお電話やメールにてご連絡ください。



万一、地域新聞社の方針が変わったら？

元オーナー様は、経営の重要事項に対して拒否権を行使できる仕組みとして「黄金株」制度を活用できます。



「中小企業ビジネス&イノベーションアワード」受賞

この構想が評価され、文化放送主催「中小企業ビジネス & イノベーションアワード 2025」にてネクストヒーロー賞（次の時代の大きく飛躍しそうな社に贈られる賞）を受賞

